

「証人に任命する【主】」イザヤ書 43 章 8-21 節

序論

前回は「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」という【主】の御言葉を学びました。今回はその続きです。

1) 盲目的な神の民に証言をさせようとする神様 (43:8-9)

神様は見えない、聞こえないイスラエルに証言させ、他の国々に【主】の真実を示そうとしています。

普通なら見えない人、聞こえない人を証人にしませんが、神様はあえて靈的に盲目的なイスラエルを証人に選びます。

2) 証人にたてる理由 — 神様のことを悟るため — (43:10)

神様は、靈的に盲目的なイスラエルが証言を通じて神様を信じ、理解するようにされます。私たちが神様の証人となるよう求められており、証言することで【主】をもっと理解できるようになります。

3) 証言すべきこと (43:10b-13)

証言すべきは、【主】こそ唯一絶対の神であり、他に救い主はいないということです。現代においても唯一絶対の神を証言することは勇気がいりますが、【主】は「わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない」と明言されています。

4) 救ってくださる【主】 (43:14-21)

a. バビロンからの救いの宣言 (43:14-15)

【主】はイスラエルをバビロンの捕囚から解放すると宣言します。この解放は、バビロンの支配からの物理的な救いだけでなく、靈的な回復と贖いを意味しています。

【主】は「イスラエルの聖なる者」として、自らの聖さと正義を示し、「創造者」として全能性を強調し、「王」として統治の権威を明示しています。

b. 過去の救いを超える新しい救い (43:16-17)

【主】は過去の偉大な救い、すなわち出エジプトを想起させます。海を割ってイスラエルを救い出し、エジプトの軍勢を打ち倒した神の力が強調されます。

c. 新しいことを行う【主】（43:18-19）

43:18-19：「先のことに心を留めるな。昔のことに目を留めるな。見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。」

神様は過去の救いではなく、新しい救いを見つめるように命じています。

荒野に道を、荒れ地に川を設けるといふ新しい救いを約束しています。

d. 新しい救いの結果（43:20-21）

43:20-21：「野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水を、荒れ地に川を流れさせ、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。この民は、わたしのためにわたしが形造った。この民は、わたしの栄誉を宣べ伝える。」

新しい救いは、全ての被造物に及ぶものであり、野の獣さえも神を賛美するほどの偉大なものです。

【主】は荒れ地に川を流れさせ、ご自身の民に命の水を飲ませます。これはイエスキリストによって永遠のいのちの水が与えられることを意味しています。

神の選ばれた民は、神の栄誉を宣べ伝えるために形造られた存在であることが強調されます。

まとめ

過去のイスラエルが【主】の証人として立てられたのと同様に、私たちも【主】イエスキリストによる救いを証しする者として立てられています。

霊的な盲目から救い出された私たちは、この時代においても【主】を証しし続けることが求められています。

勇気を持って【主】を証しし、信仰を深めましょう。